



つるがや たより

第2号

発行日平成21年2月17日
群馬県伊勢崎市境百々421
医療法人鶴谷会鶴谷病院
広報委員会

「病院機能評価」認定取得の報告

立春とは名ばかりで、寒さがいまだ続いております、またこの冬は、インフルエンザ、ノロウイルスが猛威をふるっておりますが皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

当院におきましては昨年9月に受審いたしました、「病院機能評価」で認定を取得更新出来た事をご報告いたします。

「病院機能評価」は、患者さんや地域の方が適切な医療を安心して受けられるよう、財団法人日本医療機能評価機構が多方面にわたって医療機関の評価をおこなうもので、この評価は各医療機関の優劣を比較するものではなく、病院が自ら優れている点や改善すべき点を把握し、医療における一層の質の向上及びサービスの充実につなげていこうとするものであります。

審査では（財）日本医療機能評価機構から派遣された医療知識・経験を有し、サーベイヤ研修を受けた第三者が、診療部門・看護部門・事務管理部門の多方面にわたり評価をおこない、一定の基準を満たした施設を認定しています。

今回二度目の認定となりましたが、地域における役割を踏まえ、医療の質の向上と患者さんへのサービスの充実に、今後も職員一同努力してまいります。

皆様のご健勝とご多幸を祈念し、認定取得のご挨拶といたします。



医療法人鶴谷会 鶴谷病院
院長 鶴谷 嘉武

動脈硬化性疾患に対する LDL-C/HDL-C 比による 管理の有用性について

循環器内科 長沼文雄

平成 20 年 4 月 1 日より当院に勤務しました長沼文雄です。専門は循環器内科で、冠動脈や末梢動脈のインターベンション、心不全、心臓リハビリテーションなどを行ってきています。今日は最近注目されている脂質異常症における LDL-C/HDL-C 比の管理の有用性についてお話しします。

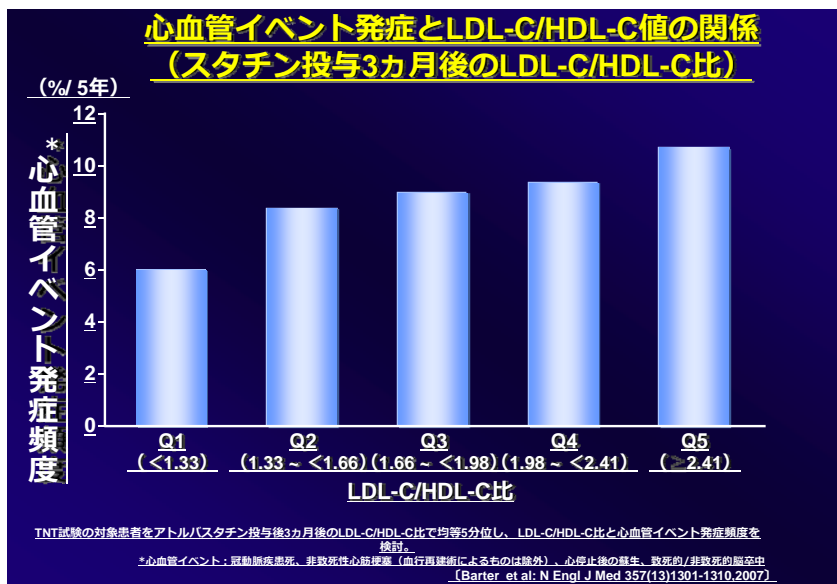
近年、日本では心筋梗塞をはじめとした心血管疾患や脳梗塞・脳出血を中心とした脳血管障害などの動脈硬化性疾患による死亡率が増加して、日本人の死因の約 30%に及んでいます。この数字は統計上、悪性新生物による死亡率と並び大きな位置を占めており、また米国の動脈硬化性疾患による死亡率と同じレベルにあります。

動脈硬化の発症や進展には加齢、高血圧、糖尿病、喫煙等の種々の危険因子が関与していますが、その一つに脂質異常（高 LDL コレステロール (LDL-C)、低 HDL コレステロール (HDL-C)) があげられています。近年、個々の脂質値だけでなく LDL-C/HDL-C 比による管理が冠動脈疾患治療に有用であるとされてきています。LDL-C/HDL-C 比は動脈硬化指数とも呼ばれ、動脈硬化のリスクを表す指標で、LDL-C と HDL-C のバランスを示すことから、脂質の質的評価が可能であること、血液検査から算出できるため簡単に評価できる指標であること

などの特徴と利点があります。実際に欧米の報告では、図 1 に示すように、心筋梗塞などの心血管イベントの発症と LDL-C/HDL-C 比にはきれいな相関があり、LDL-C/HDL-C 比が大きいほど心筋梗塞などの心血管イベントの発症頻度が高くなっています。これらの研究を踏まえて、群馬大学の倉林正彦教授は LDL-C/HDL-C 比の管理目標値として、

心筋梗塞や狭心症が発症して

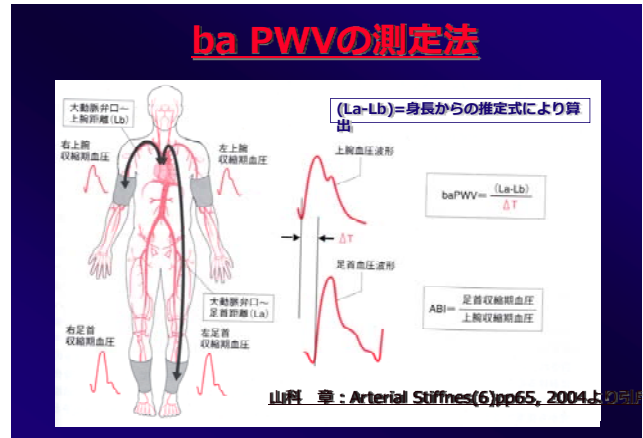
いない段階（一次予防）では 2.0 以下、再発予防（二次予防）では 1.5 以下とすることを推奨しています。当院においても、昨年より県内でいち早く検査レポートに LDL-C/HDL-C 比が記載されるようになり、これに基づいて脂質異常症の患者指導が普及し、成果をあげています。さらに、当院においては動脈硬化度の指標として PWV（血管年齢が分かる）（図 2、図 3）も測定しています。



(図 1)

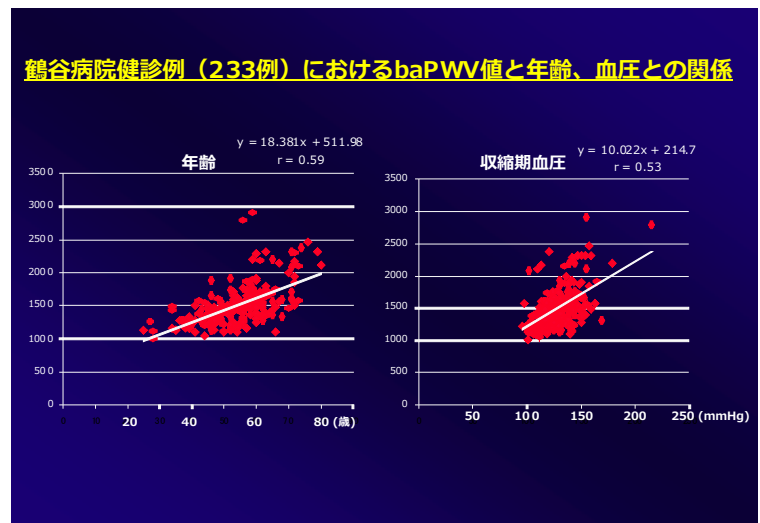


(図2)



(図3)

当院のデータではPWVは血圧、加齢と良好に相関していました(図4)。LDL-C/HDL-C比とPWVのデータを併用して動脈硬化性疾患患者に対するきめ細かい管理、治療を当院ではこれからも行っていくつもりです。よろしくお願いします。



(図4)

おむつ交換用ベビーシートの設置

耳鼻科に通う小さいお子さんを持つお母さんから、子供のおむつ交換を行う場所を作って欲しい、また、子供が待っている間に読める幼児向け等の児童図書があれば・・・との要望がありました。

病院施設管理係、サービス向上委員会他で検討を重ね、耳鼻科外来にある身障者用トイレ内にスペースがあったため、ここにベビーシートを設置いたしました。

また、児童図書につきましても随時増やして行きたいと思っております。

小さいお子さんをお持ちの方は、ご利用ください。



「たけのこ保育園」の開設

鶴谷会では、平成21年4月、当事業所に勤務する職員が養育する0歳（産休明け）から小学校就学前までの乳幼児を対象に、事業所内保育所「たけのこ保育園」を開設する運びとなりました。

職員が養育する乳幼児を預かり、保育することで、職員が安心して仕事に従事できることを目的としています。社会の中で、「明るく・たくましく・生きる力のある子ども」を保育目標に掲げ、働く職員のための福利厚生施設として、仕事と子育ての両立を支援すると共に、「基本的な生活習慣の態度」、「人との関わり方」を育てるよう保育にあたります。

基本保育のほかに、事前登録を前提として、保育園開園時間内で特定の日時の一時預かりを行う「一時保育」、他の保育園・幼稚園へ通っている乳幼児を対象に、保育園・幼稚園の保育終了後及び休園日に実施する「二重保育」も行う予定です。

利用定員	20名
保育日	月曜日～土曜日 (日曜祭日、年末年始は休園)
保育時間	8:00～18:00



建設中の「たけのこ保育園」

医療法人鶴谷会の理念

- ①人間愛を持って患者さんに接し、心のこもった医療・介護サービスにつくすこと。
- ②日進月歩する医療・福祉に対して前向きに取り組み、“チームワーク”を大切にする
こと。

これらをふまえ、質の高い医療・介護サービスを地域の方々に提供する。